

「とよなか散策」 スポット紹介 その㊥市軸神社(刀根山町)

元は刀根山の松林(現刀根山高校)辺りに、村人が通るに手に合わせる小さな祠があり、「市軸大神」が祀られていました。ある時、市軸大神から、刀根山に住む一女性に、「刀根山の地主神として祀るように」とのお指図があり、大正15年に、刀根山の地主神としてお祀りするようになったのが始まりと言われます。

以後、「市軸さん。刀根山のお稲荷さん」として親しまれ、霊験(ご利益)を求めて、遠方からの参拝者も多いそうです。神社のご神体は「お多福さん」で、毎年、2月3日の節分祭には等身大の姿を拝むことができます。鳥居前には、

「お多福のくぐり門」が設けられ、入口の両側に大根をぶら下げた支柱が建てられます。参拝者は、かんざしを頭に刺して、「頭いた…」と3回唱えて門をくぐると、願い事が一つ叶うと言われます。大根に刺したかんざしは、7月の海の日に宮司が鳴門の渦潮に流してお払いをされるそうです。神社の起源となったと伝わっています。



丹波市柏原へボランティア研修旅行

気持ちのいい秋晴れの10月11日(金)、丹波路を訪れました。最初からお買い物。発売解禁直後の「丹波黒豆の枝豆」の焼き立てにも目がいく。お土産をゲットした後は、「いそべ神社」と日本一低地(標高95m)「分水界」へ向かいました。盆地の山裾を廻りながら、一方は日本海へもう一方は瀬戸内海へと70kmの水の旅が始まります。山偏に石



オータムフェスタ開催

11月2日からの3日間、オータムフェスタが開催されました。今年は、日本センチュリー交響楽団のメンバーも加わったクラシックや日本の名曲を楽しむコンサートと、木を電気ペンで焼いて絵を描いていく「木焼アート作品展」で秋のひと時を楽しんでいただきました。



11/2

11/3



11/4



木焼アート作品展の風景

原田しろあと館の一般公開は、土曜・日曜の12:00~16:00(入館は15:30まで)となっています

＝後 記＝

この2か月の間に、大きなニュースがいくつかありました。
・今年のノーベル平和賞を被団協が受賞することになりました。核廃絶に向けての大きなメッセージとなりました。
・10月の衆議院選挙で与党が過半数割れ。自民党政権の終わりの始まり、という人もいます。
・アメリカ大統領にトランプ氏が。これからアメリカのみならず世界はどうなるのでしょうか。
・それにしても大谷選手はすごいですね。(Y)

市民交流の場 原田しろあと館

発行：特定非営利活動法人とよなか・歴史と文化の会
〒561-0801 大阪府豊中市曽根西町4-4-15
TEL&FAX: 06-6841-3725(土・日 12時~16時)
Eメール: toyonaka-hc@song.ocn.ne.jp
URL: http://harada-shiroato.org

Vol.74



ある年の雪の原田しろあと館

【12月1月の催し物】

12月	
1日(日)	むかし遊び・紙芝居
7日(土)	ジャズレコード鑑賞
8日(日)	朗読劇
14日(土)	ミニコンサート
15日(日)	おもちゃづくり
21日(土)	クラシックレコード鑑賞
22日(日)	大掃除
28日(土)	休館
29日(日)	休館
1月	
4日(土)	休館
5日(日)	休館
11日(土)	クラシックCD鑑賞
12日(日)	絵本読み聞かせ
18日(土)	自由見学
19日(日)	新春餅つき大会 おもちゃづくり
25日(土)	ジャズレコード鑑賞
26日(日)	しろあと寄席

催しの詳細は内面へ

12月8日(日) あの名作「瞼の母」を朗読劇で

劇団 EBIE がおくる朗読劇

娯楽時代劇を楽しむ

2024年12月8日(日) 13:30~15:00

＜朗読劇＞ 作/長谷川伸 脚色/西小夜子 演出/伊丹伝

「瞼の母」

他朗読一編



*** 出演者: にしよこ・伊丹伝・上松利枝・りゅう町田・鎌寛(劇団にのいち) ***
スタッフ: 山下珠美 監修: 西小夜子

昭和初期に発表された長谷川伸による戯曲「瞼の母」を朗読劇で上演。数々の舞台や映画で人気となった作品をどのように表現されるのか興味深いところ。いつも意欲的な朗読劇を観せてくれる劇団EBIEならではの舞台になる事と思います。日頃あまり朗読劇に馴染みのない方々にも、きっと新しい発見がある事でしょう。熟練の俳優陣が熱演する朗読劇をお楽しみください。

上演作品: 瞼の母、他 出演: 劇団EBIE

12月14日(土) パラグアイハープ&ギター ～ ウィンターコンサート～

華やかなステージと演奏でいつも人気のパラグアイハープ。今回は二胡も加えてのスペシャルバージョンとの事です。パラグアイと中国の楽器がセッションして奏でるメロディーはどんなものでしょう。ワクワクするコンサートになりそうですね。

演奏予定曲: コンドルはとんでゆく、カスカダ、他
出演: 増永雅子・福永幸子・佐野麻子(パラグアイハープ)、山田恵範・田村恵子(ギター)、友情出演: みるつ〜(二胡)



前回の演奏風景

1月19日(日) 久々に復活の新春餅つき大会



以前実施した餅つき大会の様子

コロナ禍で久しく実施出来なかった「新春餅つき大会」ですが、「是非また復活させてほしい！」との声も多く聞かれましたので、来年は近隣やボランティアの方々のご協力を得ながら久しぶりに餅つき大会を復活実施します。餅つき体験はじめ、先着100名にぜんざいの配布等、一家全員で楽しめる一日です。どうぞご参加ください。

1月26日(日) しろあと寄席～落語と邦楽～

新春の「しろあと寄席」は恒例の和奏伎さんの演奏と踊りで幕開けです。三味線、お琴、歌、民謡と次から次と出し物が続きます。多彩な邦楽の魅力をたっぷりご堪能ください。そして当月の高座はいつもの桂枝女太さんに代わり、笑福亭仁嬌さんの出演です。



笑福亭仁嬌さん 和奏伎さんの演奏風景

出演: 笑福亭仁嬌さん、和奏伎さん



原田しろあと館は、NPO法人とよなか・歴史と文化の会が、豊中市教育委員会からの委託を受けて管理・運営をしている市民交流のスペースです。多世代を対象に、さまざまな催しが行われています。また、四季折々の風情を楽しむこともできます。
一度、遊びに来てください。